

わが国における野生獣肉のペットフード利活用の 現状と課題

高井伸二^{1)†} 鈴木康規¹⁾ 壁谷英則²⁾ 安藤匡子³⁾ 入江隆夫⁴⁾

山崎朗子⁵⁾ 宇根有美⁶⁾ 杉山 広⁷⁾ 朝倉 宏⁸⁾ 前田 健⁹⁾

- 1) 北里大学獣医学部 (〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1)
- 2) 日本大学生物資源科学部 (〒252-0880 藤沢市亀井野1866)
- 3) 鹿児島大学共同獣医学部 (〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24)
- 4) 宮崎大学農学部 (〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1)
- 5) 岩手大学農学部 (〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)
- 6) 岡山理科大学獣医学部 (〒794-8555 今治市いこいの丘1-3)
- 7) 国立感染症研究所寄生動物部 (〒162-8640 新宿区戸山1-23-1)
- 8) 国立医薬品食品衛生研究所 (〒210-9501 川崎市川崎区殿町3-25-26)
- 9) 国立感染症研究所獣医科学部 (〒162-8640 新宿区戸山1-23-1)

(2023年2月27日受付・2023年5月22日受理・2023年9月9日公開)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/9/76_e213/_article/-char/ja